

●発表日：平成28年(2016年)6月29日(水)

雑がみ回収袋を全戸配布します ～資源になる紙を救出せよ！～

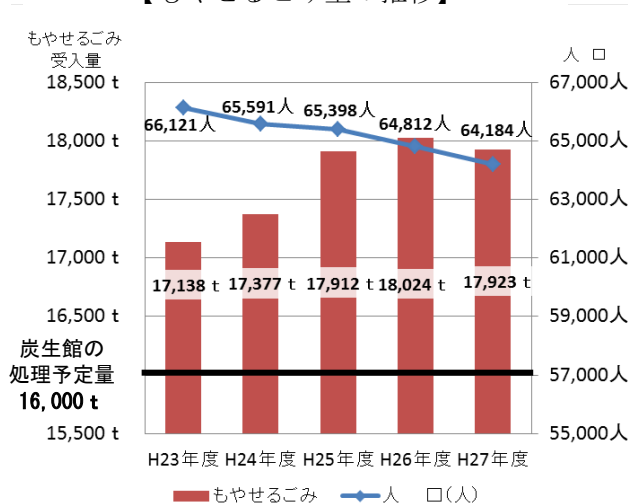
田原市では年々人口が減少する中で、もやせるごみの量は増加傾向にあります。平成26年度にもやせるごみの中身を調べた結果、資源化可能なものが多く含まれていることがわかりました。その資源を回収するため、市民の皆さんが取り組みやすい方法の一つとして、雑がみの回収をお願いしてきました。そのきっかけとして、雑がみ回収袋を全世帯に配布します。

雑がみとは、メモ用紙やはがき、トイレトペーパーの芯などでもやせるごみに入れてしまいがちな紙類です。

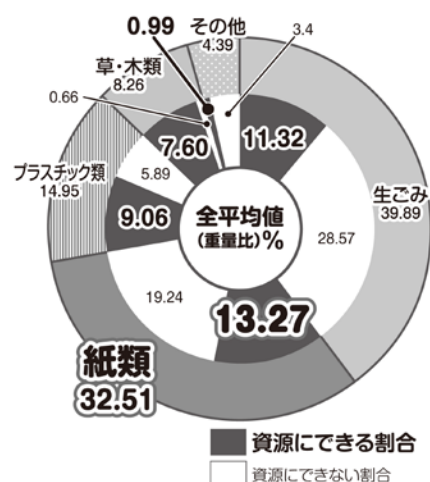
今回の雑がみ回収袋の配布によって、今までごみとして処分されていた雑がみを資源として回収するとともに、市民の分別への関心を高める目的とします。

- 1 配布日 平成28年7月15日(金)
- 2 排出方法 紙袋に雑がみを入れ、中身が出ないようにガムテープやホッチキスで口を止め、紙類の日に出す。
- 3 配布対象 22,156世帯及び転入者
- 4 入れられないもの { ティッシュペーパー、写真、レシート(感熱紙)、カーボン紙、線香や石けんの箱など臭いがついているもの、ビニールがついているもの、酒パックなど内側が銀色のもの、汚れがひどいもの }

【もやせるごみ量の推移】



【ごみ組成分析結果】



田原市では、平成26年度回収した紙類の売却益が約2,700万円あります。しかし、もやせるごみの中に含まれていた紙類を回収・売却すると計算上、さらに3,600万円の収入が見込まれました。